

## 美術の目標

- (1) 楽しく美術の活動に取り組み美術を愛好する心情を培い、心豊かな生活を想像していく意欲と態度を育てます。
- (2) 対象を深く観察する力や想像力を高め、心豊かに発想し表現するための基礎的技能を育てます。
- (3) 自然や美術作品などについての基礎的な理解や見方を広げ、よさや美しさなどを感じ取る鑑賞の能力を育てます。

## 評価の観点・方法

### 【評価の観点】

美術では、次の4つの観点で学習の評価をします。

- ① 美術への関心・意欲・態度
- ② 発想や構想の能力
- ③ 創造的な技能
- ④ 鑑賞の能力

### 【評価の方法】

- ☆ 授業中の取り組み、計画性、忘れ物や作品の提出状況、道具や材料の準備と後かたづけ、授業の約束を守っているなどを評価します。
- ☆ 造形的な技能、鑑賞の能力などを評価します。
- ☆ 一人一人の個性に応じた評価をします。
- ☆ 授業中に先生や生徒が気付いた良い点をそのつど生徒に伝えます。
- ☆ 完成作品(発表内容)を見て評価します。(制作過程中的の作品も評価します。)

## 特色ある学習方法

- ① たくさんの道具や素材(紙・石・木・金属・粘土・廃材等)を生徒が表現したいものに合わせて選択活用できるように教室に用意します。ただし、独創的なアイデアのために必要になったものは家庭からのご協力をお願いします。
- ② 造形活動への興味・関心が高まり、楽しく美術の活動に取り組み、活動の喜びを味わえるように魅力的な題材を設定します。
- ③ 色々な活動を試み、個性を生かし、自ら学び自ら考える事ができる能力を「生きる力」ととらえ、これが身に付くような学習を心がけます。
- ④ ビジュアルコミュニケーション能力(視覚的に伝達する能力)を身につけ、美術を生涯にわたって生活の中で役立てる感性と美術を愛好する心を育てます。

	学 習 内 容	学 習 の ね ら い
1 学 期	<p>1 「クロッキー」 観察表現を基本として友人を描き、クロッキーの基本を学ぶ。</p> <p>2 「写生」 学校の周りの見慣れた風景から郷土の美しさを水彩画で描き、スケッチへの興味関心を高める。</p> <p>3 「陶芸」 土を使った造形を試みる。土器の模様からヒントを得て、全体の形や装飾を工夫し、世の中には存在しない焼き物を作る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・5分程度の短時間で、対象の形・全体のバランスを素早くとらえる練習。</li> <li>・クロッキーに親しみ、人物表現の楽しさを味わう。</li> <li>・スケッチの楽しさを味わい、水彩画の基礎的な技法を学習する。</li> <li>・戸外に出て五感を研ぎ澄ませ、感受性豊かに対象を観察し、感じ取った美しさや良さから発想し、風景画の創造的な構成を工夫する。</li> <li>・主題が生きるよう筆のタッチを工夫しながら画面全体を彩色する。</li> <li>・火を通してできる焼き物の不思議さを味わわせ、陶芸への関心を高める。</li> <li>・作品をつくることを通して粘土の特質を感じ取り、造形の楽しさを味わい、表現への意欲を養う。</li> <li>・自他の作品の工夫を理解し、そのよさを大切にす。</li> <li>・昔のこの鴻巣の地で生活していた人を思い、デザイン性や流行などを考えて、立体的に形をとらえることができるようにする。</li> <li>・工芸の基本学習と位置づけ、工芸への興味関心を高め、その基礎を身に付ける。</li> </ul>
2 学 期	<p>4 「色彩の効果」 美術の基本的知識と色彩の基本的な語句や性質の学習。</p> <p>5 「色面構成(レタリング)」 レタリングの基本、明朝体・ゴシック体の練習。それを生かしたデザイン制作。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・美術の基本的知識のひとつである色彩を実践的に学習する。</li> <li>・色彩の基本的な語句や性質、感情を理解し、その機能的な生かし方を理解できるようにする。</li> <li>・効果的な配色の技能を身に付ける。</li> <li>・文字の持つイメージから発想し、構想を練り、造形感を働かせ創意工夫して描くことができるようにする。</li> <li>・効果的なレイアウトや配色などのデザインを学習する。</li> <li>・色彩の光の性質や感情を理解することができるようにする。</li> </ul>
3 学 期	<p>6 「そっくりアート」 新聞紙を使い、身近にあるものや、動物などをよく観察して立体表現する。また、新聞紙の色でそのものの色や質感を表現する。</p> <p>7 「アート発見」 現代美術の多様な表現に対する興味関心を育て、それらを鑑賞し、良さを味わう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・具象表現への意欲を育て、立体作品の制作ポイントを理解する。</li> <li>・自分独自の工夫を加え立体表現する。</li> <li>・身近にある色鮮やかな新聞紙の特性を生かして個性豊かに、美しく表現する。</li> <li>・多様な表現の良さや美しさなどを味わい、鑑賞に親むことができるようにする。</li> <li>・想像力を働かせ、現代美術の表現に表された作者の心情や表現の工夫を理解できるようにする。</li> <li>・授業の中で学んだ多様な表現の現代美術への興味・関心を発展させ、美術館を積極的に利用する姿勢を養う。</li> </ul>